

The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

April/May
ISSUE



May, 2021
Volume 112

新年度のはじめに

新入生のみなさんご入学おめでとうございます。在校生のみなさんご進級おめでとうございます。保護者、ご家族の皆様におかれましては、立派に成長されたお子様の姿をご覧になり、感慨もひとしおのことと存じます。

本校では昨年度に引き続き、コロナ禍において、学校生活に関しても変容を迫られ、不自由さを感じる中での新年度のスタートとなりました。

今年度も教育活動を止めることなく、学びをしっかりと保障できるよう、学校運営を進めて参りますが、児童の健康と命を守ることが最優先であることから、学校行事の一部に関しまして、コロナの感染拡大が収束するまでの間、昨年度と同様に行事の中止や実施方法の変更等が必要となることがあります。保護者、ご家族の皆様にはご理解とご協力のほどよろしくお願いたします。

2011年4月に開校した DIA 初等部は、開校から10年が経過し、今春、節目である11年目の新たなスタートの時を迎えました。本校のように日英バイリンガル教育と PYP プログラムによる探究型学習とを2本の柱に据えたうえで、文部科学省の学習指導要領に沿った教育を行う一条校(小学校)は、全国的に見ても少なく、IBの認定当初は日本では4番目、関西以西では、初のことでした。

日英バイリンガル教育では、語学の習得だけに留まらず、

国際感覚を身に付け、世界を舞台に活躍する人物の育成が期待されています。また、探究型の学習は、AI時代の到来やコロナ感染症拡大等で、生活、仕事、慣習など社会のあり方が根本的に変化するなか、社会から注目を集めています。予測困難なこれからの不確実な時代において自己のアイデンティティを持ち、自立し、主体的に活躍できる人物の育成が望まれているからです。DIA 初等部では、この日英バイリンガル教育や探究型の学習が建学の精神である良心教育や教育理念であるキリスト教主義、自由主義、国際主義のもとで展開されることで、知識や技能の修得だけに留まることのない、全人教育へと繋がっています。

DIA 初等部での学びを修了し、卒業した第1期生が今春、同志社大学に入学します。

大学でも DIA 旋風を巻き起こしてくれるものと大いに期待をするところですが、卒業生が将来にわたり、本学で学んだことを誇りに思い、本学で学べたことが本当に良かったなと思えるような学校であり続けるよう、今後も DIA の教育、そしてそれを支える教育環境のさらなる充実に取り組み、魅力あふれる学園づくりに邁進していく所存です。

保護者、ご家族の皆様には、ご理解とご協力のほどよろしくお願いたします。

校長 谷本 高彦

DIA チャリティーラン/ウォーク

2020年度の3年生は、3月5日(金)から7日(日)の週末に、第3回 DIA チャリティーラン/ウォークを行いました。集まった募金は日本障がい者スポーツ協会(JPSA)に寄付し、パラリンピックを始めとする障がい者スポーツの振興に活用していただきました。

このイベントは、UOIのアクションとして行いました。子どもたちは、道具や新しい技術の変遷について探究し、体の不自由な人やお年寄りの方々など、誰もが活躍できる社会について考えました。

2015年の第1回は働く犬について学習したあと日本盲導犬協会に、2019年の第2回は点字の学習をしたあと日

本ライトハウスに寄付しました。このように、学びの成果が DIA の枠を超えて活かされ、子ども達の溢れる力を支援が必要とされているところに届けることができ、嬉しく思います。またこのような活動を続けていきたいと思っておりますので、その時にはご協力をよろしくお願いたします。



キリスト教 教育テーマ

4月：希望 April：Hope

「その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちは、ユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸にはみな鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、『あなたがたに平和があるように』と言われた。そう言って、手と脇腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。」

(ヨハネによる福音書 20 章 19-20 節 聖書協会共同訳)

「天地の造り主である父なる神さま、聖名を崇めて感謝致します。

2021 年度春学期の初めに、私たちは未だかつてない大きな試練の中に置かれています。

どうか、不安な世の中にあっても、なお深い神さまの愛を思い起こさせてください。

神さまが私たちを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えてくださる、という聖書の言葉を胸に留めて、日々の生活に励むことができますように、導いてください。そして、今、病にある方々やそのご家族、またそれらの人々のために日夜働いておられる方々のことを覚えて、真剣に祈る心を私たちにお与えください。

このお祈りを、主イエスさまのお名前によって、おささげ致します。アーメン」

4月4日の日曜日は、イースターでした。十字架に掛けられて一度は亡くなられたイエス様が、復活して弟子たちの前に現れられたという、お祝いの日です。日本ではクリスマスほど有名ではありませんが、実はキリスト教では一番大切なお祝いの日なのです。

先ほどお読みした聖書のお話の中で、「弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。」と、あります。救い主だと思って信じて従っていたイエス様が殺されてしまったので、「次は自分たちの番ではないか。」と思うと、怖くて外へ出られなかったのですね。

鍵をかけるまではいかにしても、私たちも現在、ウイルスという目に見えない相手が怖くて、あまり外へは出られないわけですから、イエス様がお亡くなりになった後の弟子たちに似ているかな、と思います。

でも、私たちがどんなに家の中に閉じ籠っていても、神さまを信じて祈る人には、イエス様の方から私たちの真ん中に立たれて、「あなたがたに平和があるように。」と、言ってくださるのです。

このことを信じて、どうか毎日お祈りを続けてくださいね。

以上は昨年、国から初の緊急事態宣言が出され、DIA でもオンライン授業を余儀なくされた時に行った、第一回目の宗教の授業です。日付のみ今年度に変えてみましたが、内容は今年度の事情とさして変わらないことに驚きを覚えます。確かにその後、私達は新型コロナウイルスに関する情報を少しは手に入れて、闇雲に恐れる、ということはありませんでした。換気をし、手洗いやマスクの着用などに気を付けていれば、ある程度は防げることがわかったからです。しかしながら、現在また変異ウイルスの脅威が囁かれ始めており、第4波の懸念も拭えません。決して楽観できる状況ではなく、昨年とはまた異なる緊張感の下に置かれていると言えるでしょう。

にもかかわらず、私達には「希望」があります。いつかは良くなる、という漠然とした望みではなく、私達のただ中に立たれて平和を祈ってくださる、イエス・キリストへの確固とした信頼の上に立った希望です。

今年度はどのような一年になるのか、まだ誰にもわかりませんが、いついかなる時でも DIA の子ども達を神さまが守り、幸せな毎日を送らせてくださることを信じて、新学期に臨みたいと思います。



Christian Education Committee チャプレン 石川眞弓

<お知らせ>

2020 年度のおにぎり献金の総額は 30 万円でした。送金先は以下の通りです。皆さまの温かいご協力に心より感謝申し上げます。

昨年度、低学年児童らが作成したイースター・エッグ



- ・岩手キリスト教学園認定こども園宮古ひかり
- ・若松聖愛幼稚園（福島）
- ・慈恵病院「こうのとりゆりかご」（熊本）



からのおしらせ

今月のおすすめ～入学式の祝辞から～

今年度は4月13日(火)に入学式が行われました。コロナ禍ではありましたが、感染対策の上、新1年生、保護者の皆様にご参加いただくことができ、とても嬉しく思っております。大学からも、八田英二総長・理事長および植木朝子学長が来賓としてお越しになり、1年生の同志社への入学をお祝いしてくださいました。

植木学長は文学部国文学科の教授であられ、児童書に精通していらっしゃる、2020年度3月に行われた卒業式では「花さき山」(斎藤隆介作・岩崎書店)を題材に祝辞をお送りくださいました。「コロナ禍で、大変な1年を送った6年生の皆さん。皆さんが我慢した分、どこかの山にきれいな花が咲いていますよ。」とのお言葉に、卒業生も感じ入るものがあったようです。植木学長はこの入学式では「どうぞのいす」(香山美子作・ひさかたチャイルド)を祝辞の中で紹介くださいました。

このお話は、うさぎが小さいいすを作って、野原の木の下に置くところから始まります。いすの前には「どうぞのいす」との立て看板が出され、さまざまな動物たちがそれを利用していきます。見ず知らずのだれかのために作られたこのいすは、利用者(動物)の「あとのひとにおきのどく。」との気持ちから、また次へ、また次へ、と「思いやり」がバトンタッチされていきます。皆様には是非読んでいただきたいので、ここで詳細を述べることは遠慮させていただきますが、お子様とともに次の展開を楽しみながら読んでいただきたい1冊です。低学年向きですが、高学年や大人も次の展開を考えたり、自分でお話の続きを考えてみたり、どの年代でも楽しめるお話です。

4月21日までにすべてのクラスの図書館オリエンテーションが終わり、図書館の本の貸し出しが始まりました。本を大切に扱っていただくために、厚手の布袋のご用意をさせていただいております。ご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。



5月の主な行事・予定

1	土	
2	日	
3	月	Constitution Day/ 憲法記念日
4	火	Green Day/ みどりの日
5	水	Children's Day/ 子どもの日
6	木	Swimming
7	金	FF
8	土	
9	日	
10	月	Unit 1 (week 4)
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	Unit 1 (week 5) 健康診断 Health checkup
18	火	
19	水	
20	木	Swimming
21	金	
22	土	#1 Explanatory Meeting/ 第一回学校説明会
23	日	
24	月	Buffer Week
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	Unit 2 (week 1)

Conference Week / 中間考査

6月の主な行事・予定

6/4	Grade 2 校外学習 (琵琶湖博物館) (予定)
6/11	Grade 4 校外学習 (芦生の森) (予定)
6/15	Grade 5 保護者対象中学校進学説明会 (zoom)